

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 2月 9日

公表: 令和 5年 2月 14日

事業所名: たまりばアジュール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		活動スペースにはその時使うも以外は置かないようにし、空間を広く使えるようにしている	
	2	職員の配置数は適切である	4	2	集団での活動が難しいと思われる際には組み分けをするなどして対応している	活動の際、特性を考慮して組み分けしたり、活動内容を変更するなどして対応していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		職員会議等で話し合い、行っているがもう少し時間を確保する必要がある
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		日頃から保護者に要望や相談がないか声掛けをするようにしている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		事業所の情報が何処でどの様に出ているかを全職員に周知
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		初心を忘れないよう同じ研修であっても機会があれば参加するようにしている	様々な研修に出来る限り多くの職員が参加出来るようにし、同じ内容の研修でも繰り返し参加する
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		1年に1回行うようにしている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		職員それぞれの経験を活かしアイデアを出し合って決めている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		前月の子どもたちの反応をみて内容を考えるようにしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			学校がある日、ない日で取り組むものや量・時間に差をつけている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			特性を考慮して楽しく活動出来るよう考慮しています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		支援内容の細かな説明、全体の職員の役割分担の確認を昼礼で行うようにする
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		6	支援終了後、送迎で揃わないので翌日の打ち合わせで共有している。	職員全員が揃う昼礼で前日の振り返りの時間をしっかりととり、情報共有して行く
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			振り返りを充実させてもう少し細かな記録を残し、改善につなげて行くようにします
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		半年に1回、必要な子の場合にはその時点で行うようにしています	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	・該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	引き継ぎ時の担当者会議に出席して頂けるように要請している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		引き継ぎ時の担当者会議に出席するようにしている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		出来る限り参加しています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	特性的に難しいのでまずは他事業所(放デイ、生活介護等)に出かけている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3		積極的に参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡ツールを使い毎回の状況を伝えつつ、送迎時にも出来る限りお話しをするようにしています	気軽に相談出来る機会をもう少し増やして行きます
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	研修等に参加しています	必要なご家庭にはどの職員でも相談時間や声掛けの対応ができるようにしていきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		経験の多い職員が対応しています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	コロナ感染予防の為、実施していない	保護者の集まりやすい会を計画し参加して頂く
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情になる前、気になる段階で対応出来るようにする
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	行事予定を毎月お渡しし、特別な活動の際には個々にお手紙等で連絡をしています	
	35	個人情報に十分注意している	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		様々な視点から個々に合うものを常に探るようにしている	個々に合わせたコミュニケーションツール、方法で伝える
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	コロナ感染予防の為、実施していないが施設の周りを散歩したり、地域の公園を利用するようにしている	地域の方への挨拶活動を引き続き行いながら施設を知って頂く

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		保護者の方には定期的にお手紙等で周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		半年に1回行っています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		年1回は職員全員が研修に参加しています	月1回は対応の振り返り記録を基に虐待について話を事業所内で行います
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			